

「安曇野」自転車を活用した観光振興

地域戦略推進型公共事業

～ 地域の魅力や資源を活かした観光の推進 ～

1 地域のビジョン

安曇野は、雄大な北アルプスの麓に広がり、安曇野湧水群に年間180万人(H28)、穂高温泉郷に年間150万人(H28)など、観光客が多数訪れる観光地。JR穂高駅前には修学旅行などの観光客を対象としたレンタサイクル店、北アルプスの麓では雄大な景色の中を疾走するスポーツ自転車イベントなど、地域の観光資源を活かした様々な取組みが行われている。これら既存の取組みを磨き・拡充することで、地域の観光振興、魅力発信の強化を行う。

2 地域のビジョン・戦略の実現に向けた連携

【地域課題・検討解決の場】（構成メンバー：a、b、c、d）

県、市、地元関係者が連携し、地域の魅力や資源を活かした取組みを検討。

○ 地域や観光施設における課題・ニーズの掘り起こし

・多様な関係者が連携して、観光振興の取組みを検討。

○ 積極的な魅力発信

・銀座NAGANOなど観光情報センター等を活用した積極的な魅力発信。

a：安曇野市等

b：観光協会、商工会

c：商店、企業、団体等

d：長野県（観光部、産業労働部、警察本部、建設部、松本地域振興局、安曇野警察署、安曇野建設事務所）

3 取組みの内容

既存のレンタサイクルによる観光振興

観光部・建設部・市・観光協会・民間

・穂高駅前の既存のレンタサイクル店を中心とした観光コースの魅力向上を推進

・安曇野湧水群、北アルプス山麓を結ぶ観光コース等で、安全性や快適性の向上、分かり易い案内看板の設置などを推進

H28～ 穂高駅周辺 歩道リメイク事業

・新たな観光コースの検討

・世界かんがい施設遺産「拾ヶ堰」を魅力ある観光地とするための自転車道の環境整備

H29～ 案内看板整備（地域振興推進費）

H30～ 舗装修繕



スポーツ自転車による観光振興

観光部・建設部・市・民間

・サイクルイベント「アルプスあづみのセンチュリーライド」を観光振興に繋げる取組み

H28～ 関係機関との調整

・イベントで活用されるルートを走る自転車愛好者のため、観光地、温泉施設、食堂等にスポーツ自転車を駐輪できる環境を整備

H28 温泉施設にサイクルスタンド設置（市事業）

・走りやすい道路環境の整備

H28～ 道路改築事業



健康

健康福祉部・建設部・市

・サイクリングスポーツを通して、市民の健康を増進

・安全・安心なコースで日常的な利用を促進

・利用者のための休憩所、駐輪場等を整備



情報発信

建設部・市・観光部・民間

・自転車観光都市としてブランド化

・観光情報センター等を活用した情報発信

・ナショナルサイクリングルートや、サイクリングコース100選への登録に向けた取組み

